

夕日とロマンのフラワーアイランド

い え そ ん

伊 江 村



〈組織〉 (令和2年3月31日現在)

村長	しまぶくろひでゆき 島袋 秀幸 任期 R3.4.27 (2期)	副村長	なしろまさひで 名城 政英 任期 R3.5.1 (2期)
副村長	-	教育長	みやざととくなり 宮里 徳成 任期 R3.3.31 (2期)

議長	とぐちまさお 渡久地 政雄	副議長	かめざととしろう 亀里 敏郎
議員	条約定数 10 現議員数 10 任期満了日 R4.9.27	党派構成	無所属 1 9

H31.4.1現在	合計	普通会計	特別会計
職員	150人	122人	28人
人口千人当たり職員数	32.66人	26.56人	6.10人
各4.1現在	平成31年度	平成30年度	平成29年度
職員数(普通会計)	122人	119人	115人
類似団体	-	102 (134)	101 (134)
ラス指数	91.8	92.3	91.8

※類似団体〇は産直、ラス指数の〇は国家公務員の給与改定特例法による減額措置が無い場合。

〈村の花・木・鳥・魚/名所・旧跡/祭・行事等〉

村花	テッポウユリ	村木	ガジュマル
村鳥	-	村魚	-
名所・旧跡	城山(タッチュー)、湧出、ニヤティヤ洞、シカの化石、具志原貝塚、リーフィールド		
祭り、行事	一周マラソン大会、ゆり祭り、海神祭、大折目、旧盆エイサー、民俗芸能発表会、チューバンジャ祭り		
名産・特産	伊江島牛、島らっきょう、ピーナツ菓子、もずく、紅芋、トウガン、麦、イエソダ、黒糖		
姉妹都市	-		
その他	滋賀県高島市児童との交換交流会(夏・冬)		

〈広域市町村圏・広域計画〉

北部広域市町村圏
-
-
-

〈基地面積〉 (H31.3末)

米国軍	
基地面積	801.5 ha
市町村面積に占める割合	35.2%
自衛隊	
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	0.0%
合計	801.5 ha 35.2%
県面積に占める割合	0.35%

市町村コード	473154	類型	I-O
所在地	〒905-0592 伊江村字東江前38番地		
T E L	(0980)49-2001	F A X	(0980)49-2003
ホームページ	http://www.iejima.org/ieson/		
指定地域	離島・過疎・辺地・農業振興・産業高度・観光促進		

〈概要〉

県下 23 位	総面積 R1.10.1	耕地 R1.7.15	宅地 H31.1.1
22.78 km ²	1,080 ha	1,212,703 m ²	

県下 28 位	住基人口 H31.1.1	H27国調人口	H22国調人口
4,593 人	4,260 人	4,737 人	
年少人口割合 14.3%	県全体 17.4%	高齢化率 29.9%	県全体 19.6%

住基世帯数 H31.1.1	H27国調世帯数	H22国調世帯数
2,260 世帯	1,917 世帯	1,915 世帯

有権者数 R2.3.1	男	女
3,746 人	1,893 人	1,853 人

沿革

明治41年4月1日	村制施行
-	-
-	-
-	-
-	-

〈基本構想〉

基本構想	H23～R2	中長財政計画	無
基本計画	H23～R2	(-)	(-)
実施計画	H23～R2	(10年計画 5年ローリング)	

〈令和2年度主要事業〉

(百万円)

区分	事業名	新・継	事業費
補助	畜産総合施設整備事業	新規	931
補助	村立保育所建設事業	新規	527
補助	総合運動公園整備事業(屋内体育施設)	新規	439
補助	団体営農地保全整備事業	継続	242

〈今後の主要プロジェクト〉

(百万円)

区分	事業名	実施年度	事業費
補助	多目的交流センター整備事業	R2～R3	未定
補助	総合運動公園整備事業(屋内体育施設)	R2～R3	未定
補助	農業集落排水施設整備事業	R2～R10	未定
-	-	-	-

《教育》 (令和元年5月1日現在)

区分	施設数	児童生徒数
公立幼稚園	0園	0人
村立幼稚園	2園	84人
村立小学校	2校	245人
中学校	1校	117人
村立	1校	117人
村立以外	0校	0人

《医療》 (平成30年度)

区分	施設数	病床数
病院	0箇所	0床
村立	0箇所	0床
村立以外	0箇所	0床
診療所	2箇所	0床
村立	2箇所	0床
村立以外	0箇所	0床
住民千人当たり病床数		0.0床

《財政》

① 決算収支 (百万円)

区分	H28年度	H29年度	H30年度
歳入総額	5,725	6,250	7,083
歳出総額	5,547	6,094	6,938
形式収支	178	156	145
実質収支	174	143	97
比率	7.0%	5.7%	3.8%
積立金	186	91	178
積立金取崩額	89	100	100
実質単年度収支	18	△39	32

③ 公営事業会計等における繰入金の状況 (H30年度 百万円)

区分	実質収支	繰入金 うち財源補填的繰入
国民健康保険事業	89	110
老人保健医療事業	0	0
介護保険事業(保険)	0	0
後期高齢医療事業	1	18
区分	実質収支	繰入金 うち基幹外繰入
-	0	0
-	0	0
-	0	0
-	0	0
-	0	0
法非適		
上水道事業	1	1
交通(船舶)事業	△75	15
-	0	0
法適		

④ 歳入の状況 (H30年度 百万円)

区分	金額	構成
地方税	365	5.2%
地方譲与税	44	0.6%
地方交付税	2,233	31.5%
普通交付税	1,951	27.5%
特別交付税	282	4.0%
国庫支出金	1,464	20.7%
県支出金	1,070	15.1%
地方債	590	8.3%
その他	1,317	18.6%
歳入総額	7,083	100.0%

④ 歳出の状況 (H30年度 百万円)

区分	金額	構成
人件費	1,002	14.4%
物件費	1,296	18.7%
扶助費	386	5.6%
補助費等	413	6.0%
公債費	444	6.4%
普通建設事業費	2,713	39.1%
補助事業費	2,296	33.1%
単独事業費	332	4.8%
その他	684	9.9%
歳出総額	6,938	100.0%

《産業》 ①産業別就業者数 (H27国調)

区分	就業者数	構成比
第1次	770人	33.7%
第2次	326人	14.3%
第3次	1,188人	52.0%
合計	2,284人	100.0%

《福祉》

区分	施設数	収容定数
保育所(H31.4.1)	2箇所	150人
村立	2箇所	150人
村立以外	0箇所	0人
生活保護率(H30年度平均) 人口千人当たり		14.60人

②村内総生産 (H28年度実数)(百万円)

分類	純生産	構成比
農林	2,478	20.5%
水産	162	1.3%
鉱・製造	393	3.3%
建設	2,409	19.9%
電気ガス水道廃棄物	192	1.6%
運輸・郵便・通信	548	4.5%
卸売・小売	623	5.2%
金融保険不動産	1,112	9.2%
宿泊・飲食サービス	656	5.4%
専門・科学技術支援	267	2.2%
公務・教育	1,805	14.9%
保健衛生社会	793	6.6%
その他サービス	641	5.3%
合計	12,079	100.0%

② 主要指標 (百万円)

区分	H28年度	H29年度	H30年度	順位	県平均	市平均	町村平均
財政力指数	0.17	0.17	0.17	29	0.38	0.54	0.32
標準財政規模 a	2,477	2,509	2,540	28	8,415	22,854	3,121
経常収支比率	78.1	80.6	82.7	9	88.8	90.0	85.8
人件費	29.7	31.9	30.6	32	23.7	23.0	25.4
扶助費	4.2	4.8	4.1	16	16.2	19.3	8.0
公債費	17.1	16.9	16.2	28	14.3	14.7	13.3
物件費	16.3	15.9	19.4	32	14.9	14.4	16.1
その他	10.8	11.1	12.4	7	19.7	18.6	36.3
実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
連結実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
実質公債費比率	4.3	4.6	4.9	6	7.8	8.3	6.3
将来負担比率	-	-	-	-	23.6	41.7	-
徴収税率	97.1	97.7	98.1	6	0.0	0.0	0.0
現年課税分	99.3	99.2	99.2	9	0.0	0.0	0.0
滞納繰越分	40.9	39.5	49.4	8	0.0	0.0	0.0
債務負担行為額 b	0	0	0	-	-	-	-
b/a %	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
地方債現在高 c	4,076	3,994	4,164	-	-	-	-
c/a %	164.6	159.2	163.9	19	-	-	-
積立金現在高	4,010	4,054	4,001	-	-	-	-
財政調整基金	1,723	1,715	1,792	-	-	-	-
減債基金	823	825	627	-	-	-	-
その他特目基金	1,465	1,514	1,582	-	-	-	-
住民1人当たり税負担(円)	76,066	78,432	79,469	5	-	-	-
自主財源比率	27.9	24.2	21.4	34	-	-	-

《行政の特色》

本部半島から約9キロの距離に位置する一島一村の離島である。島の35%を米軍基地が占め、農漁業主体の産業構造と歴史・文化の成り立ちは、沖縄の縮図と言われる。村では、その自然条件を活かした農業・漁業に加え、近離島を売りものに「観る」観光から「体験」する観光に結びつけ、「滞在型」観光リゾートづくりを積極的に推進している。